



いいで町

176号

議会だより



自分達で作った料理、やっぱり美味しいなー（公民館シリーズ）

12月議会（第12回定例会）

一般質問のふりかえり P4~5
定例会概要 一般会計補正予算 P6~7
一般質問 P10~14
常任委員会（総文）（産厚） P16~17
意見交換会 P18~19

2020年新年のご挨拶



議長

菅野富士雄

明けましておめでとうございます。皆様には、令和初めての新春を清々しくお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年は地方議会議員のなり手不足が叫ばれるなか、町議選が競争率1・4倍で行われ、5人が新しく議員となり活躍頂いております。若返った議会として、先輩方が築かれてきた議会改革や政策提言など「協働」の合言葉のもと、力を合わせて推進してまいります。今後とも、さらなるご支援とご理解をお願いしまして、新年の挨拶といたします。



川崎祐次郎

新春を寿ぎ、皆様のご多幸をお祈り申し上げます。今年も、教育・介護など日常生活に着目して頑張ります。



屋嶋 雅一

明けましておめでとうございます。初心を忘れず、町民の方々の声を大切に、住みよい町づくりに努めてまいります。



舟山 政男

新年明けましておめでとうございます。

私たちみんなが、希望を持って安心して安全に過ごせる町づくりのために、新議員として頑張りたいと思います。



遠藤 芳昭

町政全体を見つめ、現在の課題と将来像を明らかにする活動を、皆さんと共に進めてまいります。



高橋 勝

私の視線の先には、町民生活と町の将来の姿。皆様の声を幅広く拾い、固定概念にとられない政策提言をおこないます。



遠藤 忠

新年明けましておめでとうございます。飯豊町の将来と未来のために、定住対策とニュータウンの街づくりを進めよう。



高橋 亨一

令和新時代、新春を晴れやかに迎えられたことと心より、お慶び申し上げます。



古山 繁巳

町民の負託に答えることを目標に、住み良い未来「いいで」に全力投球していきます。

明けましておめでとうございます。令和になり、多くの町民の声を行政に届け反映できるよう頑張ってください。



後藤 恵一郎

明けましておめでとうございます。令和になり初めての正月を迎えました。

議会も新体制となり早5ヶ月、町民の皆様が安心して安全に暮らせるまちづくりに努力してまいります。



議員

若者定住促進を図る対策と企業支援、就労支援対策は。

(平成28年6月議会)

町長

「山形大学xEV飯豊研究センター」による新たな産業創出に期待をしながら、事業拡張企業の支援と町内者の新規雇用に助成を設けています。

結果

令和3年に新産業集積事業で、東山工業団地に建設中の貸工場にセパレータデザイン株式会社が稼働し、電池の材料「セパレータ」の研究開発と製造販売を行う予定です。

議員

国の支援による防犯灯のLED化と、街灯・防犯灯の維持管理を町一元化に。

(平成27年12月議会)

町長

町内1500基の防犯灯LED化率は10%ですが、全てのLED化と町管理を検討します。

結果

全灯がLED化となり、修理代、電気代など町管理になりました。

のふりかえり

平成27年12月から、平成30年12月定例会における一般質問の中から結果を要約し掲載します。

議員

消防団員確保のために、報酬アップや装備の充実を図るべきでは。

(平成28年12月議会)

町長

西置賜行政組合と連携し、消防団装備基準や団員報酬基準の改正により、順次整備していきます。

結果

団員の報酬額が年額1万6000円から2万円になり、装備も順次更新しています。

団員確保については、地区の再編とOB団員の協力をお願いしながら、つとめています。



装備された消防団

議員

消雪道路の水量不足で雪が消えない所が多い。井戸の新設を考えるべきでは。

(平成30年3月議会)

町長

現在の設備を修繕し対応していきます。

結果

水量不足の消雪道路から修繕工事を進めています。



修繕された消雪道路

議員

空き家対策に町民の声を。

(平成30年3月議会)

町長

使用困難な空き家については、老朽危険空き家解体支援事業を創設し、利用可能な空き家は空き家バンクに登録して利活用に取り組んでいきます。

結果

「老朽危険空き家解体特別措置法」が公布され、特定空き家所有者に解体勧告ができるようになりました。

登録された利用可能な空き家はリフォームされ、売買も進んでいます。

今年度は、5件の解体に支援しました。

特集 一般質問

議員

民間主導による眺山総合開発計画への支援は。

(平成30年12月議会)

町長

国・県の助成を活用した事業実現に向けて支援していきます。

結果

畜産生産拠点の造成工事を行いました。また、民間による畜舎建設とバイオガス発電事業が進められています。



眺山畜産生産拠点整備

12月定例会

道路関係請願2件を採択

新たな条例

◆会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例
 ◆地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例

一部を改正する条例

◆特別職の職員の給与に関する条例
 ◆一般職の職員の給与に関する条例

請

◆主要地方道長井飯豊線、小白川地内の隘路解消の早期実現について

願

◆主要地方道米沢飯豊線菅沼峠における道路改良整備等早期実現について

主要地方道長井飯豊線の小白川地内約1・2kmが交通隘路です。小・中学校の通学路となっているものの、歩道が未整備で狭小なうえ、特に大型車が増えて大変危険な状況となっています。
審査の結果
 全員賛成により、採択し県に意見書を提出しました。

本道路は昔から人と文化の交流の基幹であり、県内外から観光客も往来する重要な路線です。
 しかしながら、峠山頂から玉庭側は、道幅も狭く急カーブや急斜面で危険な状況です。
審査の結果
 全員賛成により、採択しました。

工事請負契約の一部変更

●新産業集積事業貸工場敷地造成工事
 設計変更により工事請負契約金を8424万円から7886万円に減額変更するものです。

補正

歳入の主なもの

●山王原地区農地整備事業補助金 1380万円
 ●上郷地区農地整備事業補助金 160万円

歳出の主なもの

●山王原地区農地整備事業 1540万円
 ●農地等補助災害復旧事業 260万円

●新産業集積事業貸工場敷地法面保護工事
 設計変更により工事請負契約金を5540万円から5525万円に減額変更するものです。

●空き家対策総合支援事業補助金 822万円
 ●障がい者自立支援事業 807万円

●多面的機能支払交付金 1200万円

●多面的機能支払交付金 1600万円



小白川地内の隘路道路

人事

次の人事案件に同意しました。
 ◆中津川財産区
 ・大字上原
 鈴木 泉
 管理会委員

一般会計補正予算

令和元年度一般会計補正予算は歳入歳出
それぞれ5042万円減額で89億8831万円としました

◆ 一般会計

【歳入】

(単位：万円)

款	補正前の額	補正額	計	補正の主なもの
町 税	5億8344	670	5億9014	固定資産税の減
地方交付税	29億6552	1331	29億7883	普通交付税の増
分担金及び負担金	2441	956	3397	保育料の増
使用料及び手数料	8820	▲193	8627	幼稚園の使用料などの減
国庫支出金	4億6181	▲538	4億5653	空き家対策総合支援事業補助金の減
県支出金	11億4287	▲1523	11億2764	農林水産事業補助金の減
財産収入	1167	1	1168	不動産売り払い収入
寄附金	9200	24	9224	一般寄附金の増
繰入金	9億3716	180	9億3896	公共施設整備基金の増
諸収入	9568	2430	1億1998	給食費収入現年分の増
町債	23億0380	▲8390	22億1990	椿住宅団地整備事業の減
その他の款	3億3217	0	3億3217	
歳入合計	90億3873	▲5042	89億8831	

【歳出】

(単位：万円)

款	補正前の額	補正額	計	補正の主なもの
議会費	7965	18	7983	運営費・期末手当など
総務費	10億6485	▲2962	10億3523	総務管理費など
民生費	13億1726	▲482	13億1244	児童福祉費など
衛生費	3億2495	▲421	3億2074	医療施設費など
農林水産業費	17億0416	▲808	16億9608	多面的機能支払い交付金など
商工費	20億2147	228	20億2375	新産業集積事業など
土木費	5億4504	▲816	5億3688	道路新設改良費など
消防費	2億4970	36	2億5006	災害対策費など
教育費	9億7392	▲50	9億7342	小・中学校管理費など
災害復旧費	3177	251	3428	道路・橋梁単独災害復旧事業
公債費	7億0512	▲36	7億0476	借入金償還利子
その他の款	2084	0	2084	
歳出合計	90億3873	▲5042	89億8831	

審議 Q & A 一般会計補正予算

問 多面的機能支払い交付金、1600万円の減額補正の理由は。

答 国からの交付金が減額されたためです。

問 児童措置費、幼稚園運営費の減額理由は。

答 0才児途中入所に対応する職員を確保するため、予算措置をしていました。雇用がなかったために減額となりました。

幼稚園運営費は、預かり保育がなかったためです。

問 鳥獣被害対策事業35万円の内訳は。

答 熊箱わな設置費と確認作業代金です。今年度は、5頭捕獲しました。

令和元年度

特別会計・事業会計 補正予算

主な理由

国民健康保険特別会計

事業勘定
7億7183万円
182万円の追加補正
直営診療施設勘定
1億907万円
3万円の追加補正
給与改正による人件費の補正です。

介護保険特別会計

11億889万円
△14万円の減額補正
人件費の精査によるものです。

介護老人保健施設特別会計

2億8694万円
152万円の追加補正
施設運営費の補正によるものです。

水道事業会計

収益的収出
2億1476万円
224万円を追加補正
人件費の精査と中水源、平野地区
の水位観測委託費の追加補正です。

中津川財産区特別会計

629万円
△194万円の減額
森林総合研究所支出金の減額による
ものです。

後期高齢者医療特別会計

8740万円
15万円の追加補正
人件費の精査によるものです。

訪問看護特別会計

1359万円
△420万円の減額補正
嘱託職員報酬費の減額によるもの
です。

下水道事業特別会計

4億681万円
457万円の追加補正
下水道施設費の追加補正です。

工事が進む 新産業集積整備事業

第10回臨時議会

10月28日に臨時会を開催し、一般会計補正予算と工事請負契約の一部変更4件を審議し、いずれも賛成多数で原案のとおり可決しました。

補正予算

◆一般会計

台風19号の被害を受けた
台風19号の被害を受けた
林道補修の委託料など、5
50万円を追加するもので
す。

工事請負契約の 一部変更

◆畜産生産拠点造成工事

設計の一部変更により、
工事請負金額を9020万
円から1億4797万円に
変更するものです。

◆肉用牛センター

解体工事

設計の一部変更により、
工事請負金額を5830万
円から5531万円に、完
成期日の10月31日を11月14
日に変更するものです。

◆新産業集積事業

貸工場敷地法面保護工事

設計の一部変更により、
工事請負金額を4785万
円から5540万円に、完
成期日の11月20日を12月13
日に変更するものです。

【反対者 遠藤芳昭議員】

◆新産業集積事業

工場敷地造成工事

設計の一部変更により、
工事請負金額を7167万
円から8424万円に完成
期日の11月29日を12月20
日に変更するものです。



工事が進む新産業集積事業

第11回臨時議会

11月21日に臨時会を開催し、
条例の設定1件、一般会計補正
予算及び添川財産区特別会計補
正予算を審議し、全員賛成で可
決しました。

新たな条例の設定

◆眺山畜産生産拠点施設条例

畜産経営者の生産基盤強化の
ために、整備した眺山畜産生産
拠点施設の位置及び使用の許可
などを定めるものです。

補正予算

◆一般会計

畜産生産拠点施設整備事業の
測量業務委託料と土地購入費4
69万円を追加するものです。

◆特別会計

添川財産区特別会計に、土地
売払収入535万円を追加し、
基金に積み立てるものです。

◆災害のない安心した暮らしの中で 充実した教育を



高橋 勝議員

子ども達に充実した
教育環境を

質問 令和2年度のプログラミング必修化に向け、どのような整備方針で準備を行ったか。また人員配置は。

英語・ICTコーディネーター配置で対応

教育長 教育のIT化に向けた教育環境4カ年計画に基づき、児童・生徒用のパソコンやタブレット・大型提示装置を整備しました。また人員配置は今年度からコーディネーターを新たに配置し、指導主事及び教職員が連携して研修会を開催し、

各校で来年度の実施にむけて指導計画作成を行なっています。

学生からの提案で
地域活性化を

質問 町内では大学のフィールドワーク（現

地での調査・研究・聞きとり）が活発に行なわれ、①豪雪地帯の地域活性化の方法を探る②米の輸出戦略を提案③ビジネスアイデア創出④旅行商品の提案⑤ひめさゆり酵母を使用した日本酒の開発などが提案された。その内容は地域活性化に大変有効だと考えるが、今後の活用方法は。

中小企業振興補助金を活用して支援

町長 提案内容は、事業化に向けて検討していきます。町内で起業しようとする者には、飯豊町中小企業振興補助金等により支援していきます。

SDGs 未来都市
計画の評価は

質問 令和2年度に最

終年をむかえる未来都市計画での環境分野は、条例策定や民間による発電所建設など前進しつつある一方、農業の取り組みが弱いように感じられる。また、1年を残しての中間評価は。

農の未来事業を軸に
生産活動を支援

町長 本町農業政策の軸である「農の未来事

業」は、食品安全や環境保全、クリーンなエネルギー、技術革新の取り組み、持続可能な生産活動を目指しておりSDGsの趣旨と合致していると考えています。中間評価については、年度末に評価を行います。

多角的な活動が可能な
軽トラック型を検討

町長 冠水など災害時の経験を教訓にし関係機関との連携を図りながら点検、調査します。更新は、隔年2台程度で進めています。今後手引き車輛は、土嚢運搬など多角的な活動が可能となる軽トラック型への変更を検討しています。

防災、減災の
取り組みについて

質問 台風19号の冠水箇所について今後の対応と、消防団可搬ポン

（本人執筆）



関係機関とともに迅速な水害対策を望む

一般質問

◆電子マネーで 各種還元策を活用しよう



遠藤 忠議員

電子マネーの活用
で税金等の収納率
の向上を

質問 税金等の収納率向上のため、電子マネーの活用が有効である。町も採用しては。

町長 公共料金のキャッシュレス化が進んでおり、各自治体でも導入が進行していますが、利便性等の検討も必要です。

公共料金の利便性の検討

プレミアム商品券取り扱い事業者に電子マネーの普及を

質問 政府の還元が受けられるように、町内の商工業者に電子マネーの普及を推進しては。

町として電子マネーを義務化することは困難

町長 現在スマートフォン決済は35事業者が導入していますが、プレミアム商品券取り扱い業者に義務化することは、事業の性格上出来ません。集客力を向上させる仕組みとして導入がすすむものと思われま。

技術職員の採用と
チエック体制の強化を

質問 公共事業において設計と工期の変更を繰り返しているが、技術職員の採用とチエック体制の整備が必要では。

技術職員を採用したい

町長 町では技術職員を採用すべく対応しています。また、工事検査員として6名の職員を充てていますが、チエック体制を強化するには職員のスキル向上が不可欠です。工事の品質は法令で定められた事項に基づいて管理しています。

町道舗装費用の増額を

質問 町道の舗装費用を増額しては。

未舗装区間70km
舗装率74%

町長 山あいの町道が半分の35kmで、7億円ほど必要です。舗装が必要な路線の洗い出しを行い、計画的に取り組むよう検討します。

災害時のゴミ置き場を決めておく必要はないか

質問 近年大災害が発生しているが、当町でも災害時のゴミ置き場を決めておいては。

早急に検討をすすめる

町長 廃棄物は置賜広域行政組合と連携して処理することになりますが、一時保管場所については、早急に検討をすすめます。

町内の耕作放棄地の環境が良くないが、その対策は

質問 日本で最も美しい村連合加盟町として環境整備を進めては。

早急に対策
全国初の5S

町長 5S（整理・整頓・清掃・清潔・習慣）の特別プロジェクトを立ち上げ、第5次総合計画とも協調しながら推進します。

◆安心して安全な町づくりのために



舟山政男議員

将来農業のあり方

質問 大規模農家及び中小農家、高齢者が取り組む農業のあり方はどうか。

大規模一辺倒ではない

町長 小麦や大豆への転換、水田利活用は「飯豊・農の未来事業」で掲げた7つの柱の一つでもあります。稲作からの新たな土地利用作物への転換を加速化させていかなければなりません。町の農業政策は、生活環境や適地作物など、利点と特色を生かした多様な経営展

行政と地域が一体となったワン・チームで

開を可能にするビジョンを描いております。

これ以上、農業人口を減らさないためには、地域資源の活用、地域内循環、賢い消費、賢い農地利用など、生産性の考え方を転換したいと考えており、今後農の未来事業の更なる進捗を図っていきます。

鳥獣被害対策について

質問 ①バッファゾーン ②電気柵の設置 ③狩猟免許の取得の各取り組みは。

町長 ①について、人と野生動物との緩衝地帯の取り組みで山形県みどり環境税を活用し、里山の下刈りを行っています。収穫しない野菜や果樹などを放棄しない事が大切です。

②について電気柵の設置状況は、50箇所、総設置距離5100mです。町助成事業として、事業費の2分の1若しくは上限10万円を助成しています。

③について、本町の狩猟免許登録者は20名、うち7割以上の方が65歳を越えています。町の猟友会の会員として、町内の有害鳥獣捕獲に従事することなどにより、狩猟免許の新規取得、更新に補助しています。

町で取り組むSDGsについて

質問 SDGsの町で取り組む具体的な目標とは何か。

「SDGsの未来都市」として国から認定

町長 山間、中山間地域の危機を守ることがSDGsの最終目標のひとつと考えています。SDGsが示す持続可

能な社会の実現は、山間、中山間地域の暮らしを通じて守り続けてきた農村生活の中にこそあり、まさに経済と社会と環境の三側面が調和する姿は農村文化の中にあると判断しています。将来にわたって町民が安全で安心して生活できるまちづくりを積極的に推進していきます。

(本人執筆)



ICT（情報通信技術）を活用したイノシシ捕獲用わな【上市市】

一般質問

◆高齢者の外出支援の充実と 社会参加しやすい環境づくりは



屋嶋雅一 議員

高齢者の外出支援は

質問 ほほえみカーの
利用状況と対応策は。

また、他の方法での
外出支援の考えはある
か。

デイサービスの送迎車 と介護予防ワゴン車の 利用を検討

町長 ほほえみカーの
利用は年々減少傾向に
あり、利用者の死亡や
入院、施設入所、転居
が原因と思われる。
買い物支援に留まら
ず、地域活動参加など
の利用を促す施策を検
討していきます。
また、ほほえみカー
や福祉タクシーにくわ



高齢者の足となる
ほほえみカー

え、新たに介護事業所
が運行する送迎車や介
護予防ワゴン車を組み
合わせた、移動支援を
検討していきます。

質問 ほほえみカーの
利用減少は、相乗り運
行のため時間を合わせ
るのが難しく、不便を
感じることが原因の一
つ。予約時間を早める、
土日の運行、料金を安
くするなどの検討が必
要では。

土曜日の運行は実施に 向けて検討

住民課長 不便な所は
承知しています。土曜
日の運行については、
前向きに検討します。

予約時間や料金につ
いては今後関係機関と
検討していきます。

運転免許証の自主返 納者への支援充実を

質問 返納者には16
000円分のほほえみ
カー利用券の交付だが、
更に充実した支援の考
えはないか。

当面は現状維持

町長 利用券の交付額
を昨年度4000円、
拡充したことから、当
面は現状維持を考えて
いるところです。

しかし、現状調査を
しながら他市町の支援
状況を鑑み検討してい
きます。

社会福祉協議会内の筋 トレルームを他地区に も設置できないか

質問 筋トレルームの
利用状況は。また、健
康寿命を延ばす上でも
大切な事であり、他の
地区にも設置と教室が
できないか。

町長 利用状況は、30
年度は月平均180人、
今年度は月平均265

各種助成事業で 設置可能

町長 利用状況は、30
年度は月平均180人、
今年度は月平均265

高齢者の社会参加の 促進は

人と増加しています。
また、各種助成事業
の活用で、他の地区公
民館への設置は可能だ
と思います。

質問 高齢化が進み、
就労の場を求める高齢
者が増えているが、今
後の政策は。

地域福祉計画を充実

町長 高齢者の持つ知
恵と技、経験、人脈は
かけがえのない財産で
あり、活きる環境づく
りが大切です。飯豊町
地域福祉計画の内容の
充実を図って行きます。
(本人執筆)

◆専門職大学誘致の現状は ◆飯豊中学校旧グラウンドの利活用は



遠藤 芳昭 議員

4年制専門職大学誘致
町民に十分な説明を

質問 町は2年制短期大学から、4年制大学に方針転換したが、町民に十分に説明しないまま進めているのか。

地域づくり座談会等で
ていねいに説明したい

町長 住民説明会や地域づくり座談会等を通じて情報提供していきます。また、民間にどのような参加してもらうかを第五次総合計画の策定作業において協議を深めていきます。

学生募集は？雇用は？
今後町負担は？

質問 200人もの学生が集まるのか。地元への就職は可能なのか、今後町はどのような支援をするのか。

入学希望者は多い
町は周辺環境整備を

町長 本年10月末に文科省へ専門職大学を認可申請しました。8月に認可の可否がきまるそうです。アンケートでは、入学希望者は定員以上ということでした。今後、町は大学周辺の環境整備を想定しています。



建設が予定されている専門職大学

飯豊中学校旧グラウンドの利活用は

質問 町に若者や子供が集う施設がない。若者が子育てしたくなるような町づくりのためにも、空いている飯豊中旧グラウンドを活用し、屋内運動場、図書館、児童遊戯施設等を建設しては。

社会教育施設を実現したい

町長 本地には文教施設を考えており、実現できるよう検討しなければならぬ事実です。そのため町民のご理解とご支援が不可欠ですので、広く議論していただきます。

(本人執筆)



施設整備が待たれる旧グラウンド

豪雨対策と県道整備を学ぶ

飯豊町議会自主研修会

町議会では、毎年議員活動の一環として自主研修会を開催しています。本年度も1月10日(金)に町民総合センター「あぐす」において、国土交通省並びに山形県置賜総合支庁より講師をお願いしました。当日は一般町民約60名の方々にもご聴講いただきました。

ダムを学ぼう

地域の防災力と魅力の向上を目指して

最上川ダム統合管理事務所

所長 木村伸一氏

【講演要旨】白川ダムはロックフィルダムと呼ばれ、水を放流するゲートは国内最大級で洪水調節のほか、農業用水、水道水、水力発電の機能があります。

台風19号の豪雨においては、大雨を予想して「事前放流」を行いました。

ダム管理事務所では異常洪水時の防災操作と洪水貯留準備操作や洪水調節時における関係機関への放流通報や情報提供を行います。

また、洪水だけでなく、貯水の役割を果たしています。

さらには、町や地域にとって優秀な観光資源



源でもあり、近年は春先に見られる「水没林」に多くの方が訪れます。これも立派なダムの機能です。

秋の大雨の際、白川ダムの洪水調整機能が町を守ってくれたことがわかりました。置賜の中に洪水の被害にあった町もあり、ダムのありがたさを再認識しました。



飯豊町内の県道整備

山形県置賜総合支庁西置賜建設総務部

次長 後藤裕紀氏

思います。

同道路小白川地内の隘路解消については、昨年度関係者から聞き取り調査を行い、本年度は航空測量を実施済みです。今後は道路概略設計や概略ルートの検討を行う予定です。

事業推進のためにも、地元熱意を県に届けていきたい。

【講演要旨】現在、県及び国において進められている道路事業の内容は、新潟山形南部連絡道路で、飯豊町区間が未着手であり、県では「事業未着手区間の調査着手」を要望しています。

また、飯豊町から要望が出ている主要地方道長井飯豊線の手ノ子地内の改良工事は、次年度以降は交付金事業ですすめていきたいと

近年、道路関係予算が極めて少なく、地元熱意に比べ、関係者の熱意が工事を促進させるエネルギーになるとのこと。私たち議員は地域と一緒に熱い思いを国県に届けなければと思います。



第5次総合計画を策定中

総務文教常任委員会

各課からの報告

総務課

*第27回全国消防操法大会は令和2年10月16日に千葉県消防学校で開催されます。

*飯豊町消防団3分団の部及び班の改編、副団長2名体制、消防団OBの各分団への配置など検討中です。

企画課

*新しい産業の創出と農山村が融合し、持続可能な町を目指すことを基本とする第5次飯豊町総合計画を策定中です。

*プレミアム付き商品券の販売を開始します。12月末にも再販売を考えています。

*ふるさと納税の状況は、1667件で昨年より増えていますが、金額では約73万円の減

少で約2512万円です。

住民課

*11月13日と15日に千代田クリーンセンターのストックヤードで火災が発生しました。

教育総務課

*11月25日添川小学校で、インフルエンザによる学校閉鎖となりました。

社会教育課

*令和2年8月23日に第20回町民スポーツフェスティバルを開催します。

質問と答弁

遠藤忠委員

マイナンバーカードの普及率向上のため各地区公民館に向いて受付けては。

後藤住民課長

各種イベントに向いたり公民館や企業に向くなど、積極的に取り組んでいきます。

高橋亨一委員

子どもの遊び場など、空き施設の再利用が必要では。

高橋企画課長

空き家をリフォームし、若者定住住宅として活用や販売、賃貸の施策を行っている自治体があります。空き家対策、住宅施策も絡めて協議していきます。

舟山委員

手ノ子幼稚園は3月で休園となるが、在園児はどこへ行くのか。

安部教育総務課長

手ノ子幼稚園の受け入れ施設は、椿保育園を考え、スクールバスを準備しています。

屋嶋委員

全国で先生同士のいじめやパワハラが問題になっているが、町での現状を把握しているか。また、先生のストレスがあれば、そのケアはどう考えているか。

熊野教育長

校長会で聞き取りした結果町内ではありませんでした。産業医に、ストレスチェックをしてもらっています。

後藤委員

学校統合の進捗状況と今後の予定は。

安部教育総務課長

手ノ子、添川、第二小の検討委員会で12月までに結論をだし、内部で方向性を検討していきます。

菅野委員

来年度、保母の採用が1名で大丈夫か。

安部教育総務課長

臨時で有資格者の対応していますが、今後人員は必要と考えます。



3月で休園となる手ノ子幼稚園

利用しやすい介護保険

産業厚生常任委員会

各課からの報告

農業振興課

* 飯豊黒べこ冬の陣は、1月25日いいで旅館、2月1日めざまみの里物産館で開催します。

商工観光課

* 東山工業団地内の敷地造成工事と法面保護工事について、12月2日付で工事請負契約の一部変更の仮契約を締結しました。変更内容は最終設計数量が確定した中での精査による契約額の変更です。

地域整備課

* 住宅リフォーム支援補助事業で40件の申請があり1454万円の支援をしました。

一般リフォーム分で執行率が97%となり、残額は46万円となっています。耐震改修分は

今まで利用がありません。

健康福祉課

* 12月2日に民生委員・児童委員の感謝状贈呈式、委嘱状伝達式及び臨時総会を開催し、会長に伊藤佐市氏(白椿⇨椿)、副会長に片桐天山氏(中部⇨萩生)山口明美氏(東部⇨松原)、鈴木義一氏(西部⇨高峰)、伊藤清一氏(中津川⇨白川)が就任しました。

介護老人保健施設・国保診療所

* インフルエンザ予防接種はワクチンを600人分準備しました。12月現在9割程度が接種済みです。

質問と答弁

遠藤忠委員

スマート農業推進で、ドローン取得者への補助金の予算化を検討しては。

井上農業振興室長

スマート農業に対する町の方向性を定めていないので、新たな予算は考えていません。

高橋勝委員

遠距離のデイサービス利用者家族が中継地点まで送迎しなければならぬ。改善の必要があるのでは。

伊藤健康福祉課長

現状は把握していません。一人の遠距離送迎だと事業所として採算性の問題で送迎に至っていません。移動手段

の一つとして介護予防ワゴン車を検討しています。

川崎委員

道の駅をなぜ早く閉めるのかという声がある。買い物をする場所が少ないため、道の駅を買物支援的な施設にできないか。

後藤町長

道の駅の役割であることと地元の商業ニーズに応えることは重要な部分もあります。延長については現場につたえます。



買物支援的な施設を道の駅に

町内にある組織や団体と課題を共有し、解決にむけて話し合う意見交換会を開催しました。

昨年8月の議会改選後、4団体との意見交換会が開催され、各組織からいただいたテーマを中心に話し合いが行なわれ、質問・意見をいただきました。各組織からの意見・要望は、政策提言に活かし町づくりに結びつけます。

貴重なご意見ありがとうございました。(主テーマを中心に記載)

飯豊町商工会「商工業振興について」

◆開催日：10月18日（金） ◆参加人数：10名

【商工会】

◎人手不足が続いている。行政と協力し求人や求職者の状況把握行なっている事例もあるが、町独自の人材バンク組織ができないか。

【議員】

◎現在人材バンク制度を町として行なっていないが、空き時間を活用した働き方は可能ではないか。

◎行政窓口雇用相談室を設ける方法もあるのではないか。

◎まずは町広報誌やお知らせ版に、求人情報の掲載を継続する。



【商工会】

◎事業継承についての、町の取組みを教えてください。

【議員】

◎町には中小企業振興補助金があるが、事業継承を目的とした支援が入ってはいないのが現状。

◎商工会内でも議論をしていただきたい。

飯豊町観光協会「観光指針とインバウンド対策について」

◆開催日：10月18日（金） ◆参加人数：10名

【議員】

◎インバウンドの状況・農家民宿の減少など、リピーター確保のための方策は。

【観光協会】

◎観光協会と台湾は、とても良好な関係。

◎農家民宿の要望は常にある。

◎物産館では年間3000人の外国人旅行者に、食事の提供を行なっている。

◎4月～5月の水没林シーズンは、写真家をはじめ多くの観光客が中津川に来る。路肩などへの駐車も増え渋滞が発生している。対策として、シャトルバスの運行を考える必要があるのではないかと思う。

【議員】

◎現状の中津川以外にも、農家民宿などの受入れ拡大が必要になってくるのではないか。

【観光協会】

◎農家民宿組合は現在8戸。台湾・マレーシアなどからも需要が期待される。



意見交換会 議会に何を求める?!

地域の課題を共有し今後を語り合う

黒沢区協議会「災害ゴミの対応について」

◆開催日：11月20日（水） ◆参加人数：14名

【協議会】

◎災害ゴミの対応をどのように考えているか。

【議員】

◎まずは人命。逃げるのが第一。災害ゴミの発生時は、まずは自宅道路脇。次に公共施設の敷地。スワンパーク駐車場も候補地になる。今のところ、指定置場は決められていない。

◎一時置き場については、自宅から一番近い場所に設定できれば良いが、まだ町は設定していない。

◎町指定の場所まで運ぶには、軽トラックの有無が重要のようだ。



小白川若衆会「これからの小白川について」

◆開催日：12月11日（水） ◆参加人数：20名

【若衆会】

◎小白川地内の県道は、子どもたちの通学路です。大型車の通行が多く毎日心配です。陰路解消について現状を教えて欲しい。

【議員】

◎今年度に航空調査を行なっている。12月定例会において請願書が関係する協議会から提出され、町全体の課題として県に意見書を提出します。

【若衆会】

◎にぎわい再現プロジェクト委員会がなくなってしまった。今後町内の若者団体を集める予定はないのか。

【議員】

◎このような意見があることを町に伝える。皆さんのような若者が何をしたいのかも教えて欲しい。

【若衆会】

◎子育て応援お祝いとして町商品券がありますが、オムツなど子育てに必要な品物の購入に使えませんでした。

【議員】

◎町商品券はドラッグストアで利用できないので、各家庭で支出を振分けて利用していただきたい。



一部事務組合

レジデントハウス完成 置賜広域病院

置賜広域行政事務組合議会

令和元年11月28日定例会を開催し、30年度各会計決算を認定、条例の設定及び一部改正、令和元年度一般会計補正予算、消防特別会計補正予算について審議し、いずれも原案のとおり可決しました。一般会計決算は、歳入49億6726万円、歳出48億9713万円、翌年度繰越額は7013万円となりました。

置賜広域病院企業団議会

令和元年11月1日定例会において平成30年度事業会計決算、補正予算合わせて2件を審査し、いずれも原案のとおり可決しました。

平成30年度の病院事業会計決算は、入院患者数17万1007人、外来患者数は33万4240人でした。総収益166億4203万円総費用は161億5178万で純損益4億9024万円です。

レジデントハウス21戸が完成し研修医が13名入居中です。



完成したレジデントハウス

西置賜行政組合議会

令和元年10月21日定例会を開催し、30年度一般会計決算の認定を審議し、原案のとおり可決されました。おいたま荘は令和2年度より、介護部門の業務を山形県社会福祉事業団へ委託されます。

また12月26日臨時会を開催し、条例の設定および一部改正など、原案のとおり可決されました。職員定数を110人から127人への改正が行われました。

編集後記

四方の山々が真っ白になり、飯豊町にも厳しい冬が訪れています。

本町の人口を増やすためには、雪の問題を克服することが一番大事な事だと思っています。

(株)デンソー山形の工場拡大や、山形大学関連の施設が整備され、雇用の拡大も図られたので、定住人口拡大のために、雪の問題に取り組みでいく令和2年の使命と考えています。

(古山記)



表紙写真説明

中津川では、毎年子ども達が何でもチャレンジして行こうと言う事から「中津川っ子チャレンジクラブ」と言う名で活動し、今回は料理づくりにチャレンジしました。



発行責任者

議長 菅野富士雄

発行

広報公聴常任委員会

委員長 高橋 亨一

副委員長 舟山 政男

委員 古山 繁巳

委員 遠藤 芳昭

委員 屋嶋 雅一

委員 高橋 勝